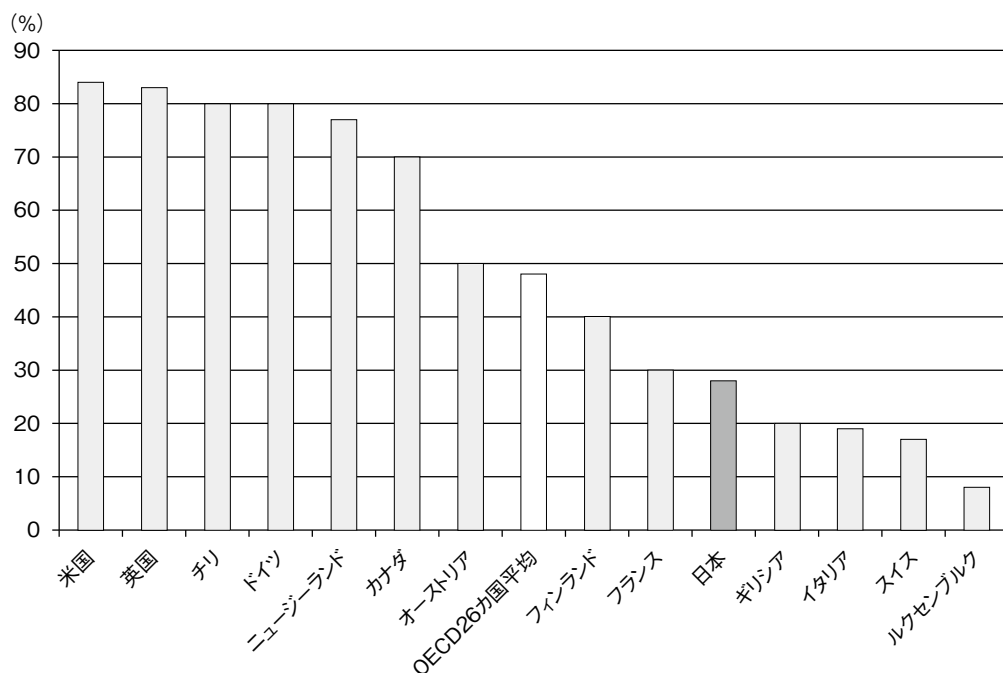


ジェネリック医薬品の市場占有率



OECDによると、各国の医薬品市場におけるジェネリック医薬品の占有率は、1位が米国の84%、最下位がルクセンブルクの8%で、調査対象26カ国の平均は48%であった。日本は28%であり、調査国でも下位に沈む。増え続ける医療費を抑えるため、国はジェネリック医薬品の利用拡大を図っているが、なかなか普及をみない。なお日本は、国民1人当たりの医薬品支出は米国に次ぐ2位である。

OECD「Health at a Glance 2015」を基に作成（量ベース、2013年ないし直近年）